

CFA日本リジョンクラブ各位

2004年10月20日

CFA日本リジョンディレクタ

小泉かよ子

ボードミーティング報告

2004年10月2-3日ニューアーク／ニュージャージー

【1】 インターナショナルショー

本年までのヒューストンに代わり2005年と2006年はサンフランシスコ（の南）で開催する。クオリファイショーを今後も継続するかどうかは、来年2月のボードで決定する。

本年のクオリファイショーによるインターナショナルキャットショー出陳資格を追加。11月3日の時点でエントリーリミットに達してない場合には、クオリファイに出陳して上位にならなかった猫もインターナショナルにエントリーできる。さらにエントリー枠がある場合には、クオリファイにエントリーして競技しなかった猫のエントリーも受け付ける。

【2】 日本リジョン関連

- 1) 前田実ジャッジ, L H A P P に昇格
- 2) ポートランドキャットクラブが2005年5月に日本で開催するショーを承認。
- 3) Japan Silver & Golden Cat Fanciersの名称をDream Catchers Cat Clubに変更。
- 4) Sendai Cat Fanciersの名称をTokyo Cat Fanciersに変更。ただしTokyoとつくクラブが複数あることが指摘された。今後は、名称変更の理由書を提出してもらう。

【3】 平均出陳数の変化

米国・カナダ

1994 243

1999 232

2004 221

日本

1994 160

1999 131

2004 126

インターナショナルディビジョン

1994 160

1999 113

2004 147

【4】 メンターMentorプログラム

メンター（指導者、特定の出陳者を担当し、個別に指導する）

プロテジー（指導を受ける出陳者）

それぞれ資格、期待される人物像、倫理的な項目がある（日本では実施されていない）。

アンバサダープログラムはメンタープログラムに組み入れられることになった。（日本でも、アンバサダー数人を任命して、ショー見学者等の質問に答えられるようにする。）

【5】 出版委員会

アルマナックのオンライン化（E-pointも見ることが出来る）が好評、冊子体の発行は隔月にして損益構造は改善の見込み。イヤブックの広告掲載料を値下げしたことも好評。イヤブックには前年の2倍以上のキャッチャー広告が入っている。

【6】 ジュニアショーマンシップ

インターナショナルショーへのエントリーに向けて作業をしている。ワークショップを土曜日にヒューストンで開催する予定。ノルウェージャンフォレストキャットとオリエンタルショートヘアを取り上げる。ジュニアショーマンシップを開催するクラブについての注意事項がまとめられる予定。エントリークラークかショー代表者が、エントリー数、ノービス、ジュニア、シニアの別、ブリード、年齢をセントラルオフィスに水曜日までに連絡のこと。エントリーフィーは

ダブルケージ代を含めて5ドル。

【7】ウェブサイト委員会

ウェブサイトは開設8年になるが、最近では収益があがっている。閲覧人数が急増している。オンラインからのイヤブック、オンラインアルマナック購読が増えている。ハリケーンのための寄付もオンラインからできる。人気のあるページは「ブリードとカラー」（全アクセスの3.1%）であり、このなかではメインクーンへのアクセスが6割近くを占める。

【8】CFA災害救援基金

本年は森林火災、度重なるハリケーン被害があった。CFAから1万ドル寄付する。

【9】会計

アルマナック（冊子）は利益があがっていない。昨年のインターナショナルショーは赤字。CFA全体としては利益が薄い。

【10】ジャッジングプログラム委員会

ブリードアウェアネスオリエンテーションワークショップ（旧ジャッジズスクール）はインターナショナルショーの際（ヒューストン）に開催。ジャッジワークショップは来年、アニユアルの際に（6月）開催。ジャッジ関係のフォームはオンラインから入手できる。<http://www.cfa.org/judges>

■追加ルール： 트레이ニーが所有する猫またはエージェントする猫はエントリーできない。セカンドスペシャリティーのトレーニー開始に関する変更（ファーストで16リングこなしてからでないとセカンドのトレーニーを開始できない）。アPLICANTのマスタークラーク、クラーク要件（マスターあるいはアシスタントマスターを3回、ファーストスペシャリティートレーニー承認後に、オーブリードかダブルスペリングのアップロードオールブリードジャッジの下でチーフリングクラークをこなすこと。その評価をトレーニー担当へ送付）。

【11】ルール変更等

- 1) CFA憲章：アニユアルの代議員登録料 10ドル→20ドルへ
- 2) ショールール：

9.05 グランド証を以前の大型サイズに

XXII エントリーがキツン100、チャンピオンシップ150、プレミアシップ75以上の時、トップ15まで表彰、プレミアシップはサードベストプレミアまで表彰。キツン、プレミアシップの得点は、ファイナル以外に、ブリード、ディビジョンの得点も加算。

XXXVI ナショナル、リジョナルアワードは各クラス25位までに変更される見込み。

XXXVIII ジュニアショーマンシップについての項目を追加（内容省略）。

6.12, 11.32 ケージの上に高さ12インチを超える物体を置いてはならない（旗や風船、売り出すの掲示などでトラブルが起こったようだ）。

27.05 ジャッジに話しかけるのを許してはならない→不要な会話を最小にするように...という意味の表現に改める。

16.06 隣接するケージ配置についての項目をクラークのセクションにも追記。

【12】インターナショナルコミッティー（関連部分のみ）

1) アジアレポート（高野八重子）

2004年7月10-12日、コリアオールブリードキャットクラブでワークショップ開催（小島、高野賢、高野八）、スタンダード解説とグルーミングスクール。2月のボードに新しいクラブ申請準備中。CFAに申請したい既存のアジアのクラブに対する教育プログラムを作成。スタンダード、ルール、クラーク、グルーミングを含む。アニユアルの前にアジアのクラブ代表者で何が望

まれているかを話し合いたい。2005年1月のサンフラワーキャットクラブ（日本）ショーでは、韓国、シンガポール、マレーシア、台湾の人たちを招待。クラーク等を学んでもらう。

2) アジアレポート（サリー・モハド）

C F Aへ申請しているシンガポールフィラインソサエティーの方々は一所懸命でいいクラブになるであろう。9月20日にアジアインターナショナルショーが韓国で。香港では12月、マレーシアとタイでは1月に予定。シンガポールではクラッキングスクールを1月に、インドとインドネシアではクラブ申請を準備している。

（翻訳，編集：S.Solenberger, 新本洋士）

【捕捉】

1. 7月のゼネラルミーティングで話題になった、ダブルケージへのオトナ猫2頭ベンチングは可能との回答をC F A本部から得ました。シングルケージあたりオトナ1，子猫なら2，ダブルケージならその2倍相当頭数までOK。

2. 新しい輸入検疫制度：11月6日より施行。マイクロチップ装着はすべての猫に必須。米国からは、ISO規格のマイクロチップを装着した猫に、生後91日以降に狂犬病ワクチンを接種、30日以上の間隔を開けて再接種。その後、血清中の抗体価が0.5IU/mlであることを確認。採血日から180日の待機期間。輸入直前の健康証明と米国政府のエンドーズメント、以上をクリアすれば、日本に入国時、即日解放。ただし、輸入40日前までに検疫所に通知して、輸入に必要なナンバーを得ること。ナンバーがないと航空会社が載せてくれないかもしれません。

3. 日本で繁殖され、日本国内で成長した猫については国内で狂犬病に感染する危険性がないことから、出国して短期間のうちに帰国する場合は180日の待機期間が必要ありません。ということは、日本で生まれた子なら生後10ヶ月未満であっても、マイクロチップ、2回の狂犬病予防接種、抗体検査をクリアすれば、米国のショーに出陳し、米国で健康証明書を取ってエンドーズメントをもらって帰国することによって、即日解放となることができます。来年のインターナショナルショーに日本からキツンを出陳することも可能になります。詳しくは動物検疫所にお問い合わせ下さい。

（捕捉部分，文責：新本洋士）